日本大学全学共闘会議 / 文理学部闘争委員会

# 解放区'70

S45 5.29

日本大学全学共闘会議 / 文理学部闘争委員会

# 理念の旗の下、5・29全国学園政治ゼネストに決起せよ!!

## 米帝のカンボジア軍事侵攻粉砕!!

## 沖縄の「本土」並み的返還協定粉砕!!

昨年の理工学部の闘争は学生の警告という日大闘争は、新入生、在学生総じて闘争に限らず! ら、現在の日本大学は学生の闘争の自体そして多くの学友、作業をなくしたをの解体を含む闘争学生は、我々はそのような一切の闘争性を徹底的に、根底から見据えなければ又'68-'69日大闘争の止揚を、我々、自らの闘争ては、その手で完成させる作業を早急に追求しなければならない。この作業を行う中でこそ現在の闘争的停滞を打破し、多くの政治的課題を含むわが日大闘争の展望は一層見出されるのではなかろうか。

前回の米軍のカンボジア侵攻は、米帝のベトナム戦争の敗北的状況における反革命的侵略への軍事的、政治的後退の巻き返しとして、軍事政権に支えられたロンノルの傀儡に対する働き、強化を含むインドシナ半島の反革命戦ラインのテコ入れと、カンボジア領内のホーチ・ミンルートの撲滅を目的に、ニクソンが独断で決意した。しかしながら、このような介入と闘争された米帝のインドシナ全域に拡る戦闘区域の増大に対して、インドシナ人民の統一戦線の結成に対する反帝闘争の闘いは、パテトラオ、カンボジア反帝統一戦線、そして南ベトナム民族解放戦線を軸にした戦線の統一を強化しつつ、更に反帝闘争の強化への侵攻を阻止してきた。

又ニクソンは先日、ジョイントにおいて、ベトナム「条約」に明記された沖縄を含むアジア諸国防衛において、米軍軍事的な在日米軍の強化をさせ、日本のみならず一層の軍事化をさせ、日米安保体制への日本の役割を強化をさせ、その一環の日米共同体制を打ち破り、全学園闘争ゼネストに決起せよ!!

闘いに決起せよ!!

附 日大全学共闘会議(○○支部)
附 全日本学生自治会(○○)